

音 楽 科

第1学年

1. 評価規準 観点別学習状況の「B」に相当するものが、評価規準です

歌唱	思考・判断・表現	・歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫している。
	知 識 技 能	・曲想と音楽の構造や歌詞と内容との関わりについて理解している。 ・声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。
		・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身につけている。 ・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身につけている。
	主体的に学習に取り組む態度	・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
器楽	思考・判断・表現	・器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫している。
	知 識 技 能	・曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 ・楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。
		・創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身につけている。 ・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身につけている。
	主体的に学習に取り組む態度	・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
鑑賞	思考・判断・表現	・鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。
	知 識 技 能	・曲想と音楽の構造との関わりを理解している。 ・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりを理解している。 ・我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性を理解している。
	主体的に学習に取り組む態度	・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
共通事項	思考・判断・表現	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えること。
	知識・技能	・音楽を形づくっている要素およびそれらに関わる用語や記号などについて、音楽における働きと関わらせて理解すること。

2. 評価基準および評価方法

① 下記の資料を総合して評価します

- ・実技テスト（歌唱・器楽） ・授業レポート（ワークシート・鑑賞レポート・合唱レポートなど）
- ・定期考査（期末） ・授業時の取り組み

② 観点別評価をするにあたって、各評価資料がどの位ウエイトを占めるかを示しています。

◎・・・・・・とても重視する ○・・・・・・重視する

観点 \ 学習活動	重み付け	実技テスト	授業レポート	定期考査	授業時の取り組み	指導の重点や評価するにあたって重視することがら
知識・技能	100	◎	◎	◎	○	必要な知識を理解し、表現する技能を身につけている。
思考・判断・表現	100	◎	◎	◎	○	知識や技能を生かし、表現の創意工夫をしている。

主体的に学習に取り組む態度	100	◎	◎	◯	◎	課題解決のために粘り強く努力し、他と協働しながら学習している。
---------------	-----	---	---	---	---	---------------------------------

音 楽 科

第2学年

1. 評価規準 観点別学習状況の「B」に相当するものが、評価規準です

歌唱	思考・判断・表現	・歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。
	知 識 技 能	・曲想と音楽の構造や歌詞と内容および曲の背景との関わりについて理解している。 ・声の音色や響きおよび言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。
		・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身につけている。 ・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身につけている。
	主体的に学習に取り組む態度	・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
器楽	思考・判断・表現	・器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫している。
	知 識 技 能	・曲想と音楽の構造や曲の背景との関わりについて理解している。 ・楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。
		・創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身につけている。 ・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身につけている。
	主体的に学習に取り組む態度	・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
鑑賞	思考・判断・表現	・鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。
	知 識 技 術	・曲想と音楽の構造との関わりを理解している。 ・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりを理解している。 ・我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性を理解している。
	主体的に学習に取り組む態度	・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
共通事項	思考・判断・表現	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えること。
	知識・技能	・音楽を形づくっている要素およびそれらに関わる用語や記号などについて、音楽における働きと関わらせて理解すること。

2. 評価基準および評価方法

- ① 下記の資料を総合して評価します
- ・実技テスト（歌唱・器楽） ・授業レポート（ワークシート・鑑賞レポート・合唱レポートなど）
・定期考査（期末） ・授業時の取り組み
- ② 観点別評価をするにあたって、各評価資料がどの位ウェイトを占めるかを示しています。
- ◎・・・・・・・・とても重視する ○・・・・・・・・重視する

観点 \ 学習活動	重み付け	実技テスト	授業レポート	定期考査	授業時の取り組み	指導の重点や評価するにあたって重視することがら
知識・技能	100	◎	◎	◎	○	必要な知識を理解し、表現する技能を身につけている。

思考・判断・表現	100	◎	◎	◎	○	知識や技能を生かし、表現の創意工夫をしている。
主体的に学習に取り組む態度	100	◎	◎	◻	◎	課題解決のために粘り強く努力し、他と協働しながら学習している。

音 楽 科

第3学年

1. 評価規準 観点別学習状況の「B」に相当するものが、評価規準です

歌唱	思考・判断・表現	・歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。
	知 識 技 能	・曲想と音楽の構造や歌詞と内容および曲の背景との関わりについて理解している。 ・声の音色や響きおよび言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。
		・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身につけている。 ・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身につけている。
	主体的に学習に取り組む態度	・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
器楽	思考・判断・表現	・器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫している。
	知 識 技 能	・曲想と音楽の構造や曲の背景との関わりについて理解している。 ・楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。
		・創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身につけている。 ・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身につけている。
	主体的に学習に取り組む態度	・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
鑑賞	思考・判断・表現	・鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。
	知 識 技 能	・曲想と音楽の構造との関わりを理解している。 ・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりを理解している。 ・我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性を理解している。
	主体的に学習に取り組む態度	・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
共通事項	思考・判断・表現	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えること。
	知識・技能	・音楽を形づくっている要素およびそれらに関わる用語や記号などについて、音楽における働きと関わらせて理解すること。

2. 評価基準および評価方法

- ① 下記の資料を総合して評価します
- ・実技テスト（歌唱・器楽）

・授業レポート（ワークシート・鑑賞レポート・合唱レポートなど）

・定期考査（期末）

・授業時の取り組み
- ② 観点別評価をするにあたって、各評価資料がどの位ウエイトを占めるかを示しています。
- ◎・・・・・・・・とても重視する

○・・・・・・・・重視する

観点	学習活動	重み付け	実技テスト	授業レポート	定期考査	授業時の取り組み	指導の重点や評価するにあたって重視することがら

知識・技能	100	◎	◎	◎	○	必要な知識を理解し、表現する技能を身につけている。
思考・判断・表現	100	◎	◎	◎	○	知識や技能を生かし、表現の創意工夫をしている。
主体的に学習に取り組む態度	100	◎	◎		◎	課題解決のために粘り強く努力し、他と協働しながら学習している。